

Historians コメント集成 PART 4

番号	書名	読んだ人数	の総数	の平均
31	カラシニコフ	14	62	4.4285714
32	最悪の事故がおこるまで人は何をしていたのか	19	70	3.6842105
33	9.11生死を分けた102分	11	46	4.1818182
34	地図に見る日本	15	52	3.4666667
35	人口から読む日本の歴史	11	34	3.0909091
36	日本の歴史をよみなおす	12	37	3.0833333
37	戦国時代のハラノムシ	18	68	3.7777778
38	ヨーロッパに消えたサムライたち	15	49	3.2666667
39	江戸城が消えていく	7	22	3.1428571
40	桶屋一代江戸を復元する	2	7	3.5



はじまりました!!

書物の奥深い世界へと新しい冒険。
合言葉は「濫読（らんどく）」、つまりわがまま読み。
まあたらしいページに最初の足跡を付けるのは誰？

図書一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

カラシニコフ

著者名	松本仁一	発行年	2004年
出版社名	朝日新聞社	ページ数	257ページ
値段	1,400円	ISDN	978-4022579294

今、アフリカはどうなっているのか。子供でも扱える銃の普及は、崩壊した社会の暴力を加速する。「植民地のほうがましだった」

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
O'rei	12-106	AK。世界を股にかける安い、強い、丈夫を満たした最強銃。一章を読んだ。11歳の少女兵の話から始まり、読んでいて体の奥が締め付けられるようだった。この本はじっくり読む価値がある。紛争が終わってもなお、残った人々は歪にされてしまった・・・。課題達成のため、途中中断が非常に残念OTLまた後で続きをじっくり読みたい。
2008/02/19 23:55:32	95P (60分)	
	12-35	
うたたね	1-269	人間って環境次第で本当に変わる。日本に生まれ育ってきた自分がどんなに幸せで平和ボケして無知かを思い知らされました。

2008/02/19 16:18:17	269P (200分)	倫理観に関係なく使える武器ってのは悪以外の何ものでもないですね。 銃でも科学技術でも権力でも言葉でも。
	1-60	
塩キャラメル	1-257	さすが新聞記者。 読みやすくてぐんぐんはまる、本当に最高の本だと思います。 買っちゃいました。 続編も刊行されており、お勧めです。
2008/02/18 20:01:11	257P (200分)	
	どこでも！	
謎の男	3-28ページ	結構グロい作品。拳銃って怖いんですねー、やっぱり。 日本が安全でいいっすね。
2008/02/18 00:36:20	26P (19分)	
hiromitu	1-269	銃の拡大がアフリカにどのような影響を与えてきたかが伝わってくる。 スラムに住みつき売春をして毎日の生活を立てている元兵士の少女のエピソードなどを読むと胸が痛くなった。
2008/02/16 10:56:14	269P (240分)	
	46-48	
勉強だいすき	1-225	とにかく話が多い。おそらく作者が頭がいいだけでなく、調べるのが好きなんだなと感じる。 一番驚いたのは、私が中高の通学中に電車の窓から見ていた工場が銃を作っていたとは知らなかった。作者が「名鉄須ヶ口駅前の豊和工業の広大な敷地・・・」と、非常に丁寧に地元を調べていたことにも驚いたが。
2008/02/15 12:22:50	226P (250分)	
	52-53	
紺	pp. 1-3, 12-60	名高い銃カラシニコフ。それはどのように人に使われ、どのように世界を変えたか。 新聞の連載を1冊にまとめたものなので、文章の歯切れがよく、かなり読みやすい。歴史の本につきものの内容の偏りもあまりないので、どこから読み始めてもよいと思う。 私はひとりの元少女兵を中心に書いた第1章を読み、興味本位で手に取ったことを後悔させられた。人間の醜さや悲しさといったものをむき出しのまま突きつけられた気がする。
2008/02/14 16:28:23	52P (60分)	
	pp. 46-49	
テニスする人	1 - 263ページ	立ち読みポイントは第2章のAK47の設計に関するところ。 設計者の意図と実際のAK47の現実との乖離とその残酷さが伝わってくる。設計者は「悪」なのか？という問題について考えさせられる。ものつくりをする理系学生としては、引っかかるものがあるのでは・・・？
2008/02/07 15:37:33	263P (200分)	
	62 - 105ページ	銃の話ではあるが、毛嫌いせずに読んでみるといいでしょう。
ひいら	1-269	第一章から衝撃の連続。共産圏の崩壊から始まった混乱の深さは想像を絶する。指導者を失い混沌と化した国家、絶望のふちで希望を見出そうとする人々。読みごたえあります。 それから、第一章で撃沈した人も第二章は必読。AK47に詰め込まれた独特な設計哲学は厳しい気候のロシアだからこそ生まれたんだろうと思います。日本だったら絶対にありえない。
2008/01/24 02:42:33	269P (180分)	
	62-104	
すらいむ	1-257	1対1の兵器でも人間を介するとこれだけセンセーショナルな書き方ができるんだなぁと感じました。 スイッチ一つで百人、千人の単位で殺せる物の方がよほど物騒で残酷で非人間的なものじゃないでしょうか？
2007/12/07 12:38:08	257P (180分)	
	第1章	戦争で先の見えない絶望した世の中で暮らす人々と、先進国において貧困で先の見えない生活をしている人と...実はさほどかわりはないような気がします。変に文明が発達していないだけむこうの方がましなのかもしれません。
Who will I be?	1-269	このカラシニコフという銃を設計した人も この銃で人を3人殺した子供も、 結局は生きるために必死になっていただけだ。
2007/12/05 13:58:12	269P (360分)	
	1 , 2 章	そう考えると、ここに書かれているようなことは 明日わが身に降りかかってもおかしくない
凱	全部	一章を読んで、やりきれない気持ちで一杯になりました。 なんで、どうして！なんで、どうして！！ なんで、どうして、そんなことが出来るの？ 夢も希望も家族も奪われた子供たちは、一体今何を見ているのか。 彼らは許しを請うべき存在なのでしょうか。 こんな内容の章が最後まで続いていたら、たぶん最後まで読みきれなかったかもしれません。

2007/11/22 20:56:01	257P (250分)	振り返って見れば私はとても恵まれた環境に育ちました。ふと、油断すると涙がこぼれそうになります。自分でもよくわからないグチャグチャの感情なのですが・・・。
	一章 特にP46-49	「人間」を見る勇気がある方は、どうぞ手にとってページをめくってください。
弟子	全257ページ	この地球上の遠い国では、毎日人が人を殺しあってます。食料のため、民族紛争のため、戦争のため、人は銃を手を持ちます。この本は、そんな人々の手の中にある、AK47という突撃銃について書かれた本です。 濫読する人は、この本を読まないで下さい。読んでも2章だけ読んで下さい。
2007/11/15 03:09:37	257P (80分)	この本の2章には、設計者カラシニコフ氏の半生と理念と哲学がつまっています。ひとたびドライバーを手を持ったら、機械という機械を片っ端から分解した少年時代をお過ごしの方ならきっと共感できるでしょう。単純な好奇心、純粋な功名心、たとえその矛先が人殺しの武器であっても「物を作る」という熱心な向上心を持ったカラシニコフ氏の思想がありありと伝わってくるでしょう。 ですが、我が侬ながら私は、他の章を読んでほしくありません。正確には、読み飛ばしてほしくありません。一文一文を吟味し、しっかりと内容を理解する人は別に問題ありません。むしろその人たちにはこの本を読んでほしい。読んで考えてほしい。この本が語っている内容を。この本があなたに何を考えてほしいと思っているのかを。何を考えてほしいと思って書かれているのかを。 しかし、もしそれが出来ないなら、単純に読み飛ばすだけなら、この本を読んでほしくない。なぜなら、今私は後悔しているからです。単純に読み飛ばし、本に列記されている事実だけを素直に受け取った結果、この本が意味していることに気付かなくて後悔しているからです。 もしこれからこの本を手にとって読む方がいらっしゃれば、深くじっくりと読んでほしい。 我が侬ばかり言ってゴメンナサイ。
フェンリル	1-257	AK47という突撃銃を知っていますか？知っているならその歴史を、知らないなら知るべきです。 個人的には満点星5つだが、読み手を選ぶ本から星4つ！ カラシニコフ本人の話から、AK47の詳細な説明。すらすらと読めてくる重いテーマ。普段見ないようにして、忘れていたことを思い出させてくれます。 大多数の人が、一章からいくと撃沈します。重いです。世の中の綺麗な部分しか見たくない人は、見ないほうがいいかもしれません。しかし、これを読まずに戦争を語ることはもうできない。 生活に疲れた、飽きた、面白みがない。そんな人に人生のためのスパイスを。
2007/11/08 03:21:29	257P (200分)	
	1-60	

最悪の事故がおこるまで人は何をしていたのか

著者名	ジェームズ・R・チャイルズ	発行年	2006年
出版社名	草思社	ページ数	420ページ
値段	2,300円	ISDN	978-4794215383

圧力逃し弁だ！ 最後に気づいた男がスリーマイル島の原発事故を救った。計器の針を揺らすわずかな徴候から真相を探りあてようとする努力は、歴史家の営みにも似て。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
O'rei	171-180	事故から生還する能力というところです。普段からの強い意識が重要です y。
2008/02/20 01:20:09	10P (10分)	
謎の男	15 - 45ページ	読みづらい。。。。何か創られた話のように感じました。でも現実に関った話なんですよ。。。
2008/02/18 00:33:51	31P (18分)	

大	9-28	ノンフィクションなだけに、リアルな現場が伝わってくる。 ただ、文章が硬く読みにくかった。
2008/02/17 20:14:59	19P (20分)	
紺	pp. 8-30, 149-150	出版社が出版社だけに、思わず手に取らせる装丁の本。 が、文章が硬いせいか、思い切り理系な内容のせいか、拾い読みには向いていない。通してじっくり読めば達成感はあるかも。 個人的には序章を読んだだけで十分な気がした。技術者倫理の講義を思い出す。
2008/02/16 10:22:58	24P (40分)	
	p. 8	
フェンリル	目次、139-150、229-232	だてに書いたページと立ち読みの所に目次と書いたわけではありません。 目次こそがメインで、ピークだと私は考えています。もしこの本をすべて読むという方は逆に目次を読まないことをおすすめします。期待がふくらみすぎます。 目次を読んだとき、まず笑います。それから期待がドンドンふくらんでいき、いざ本文を読むと淡々と事実が書いてあります。もう少し書き手の腕が良かったら名作中の名作になったでしょう。 それでも、使えない最新式魚雷。だけはすばらしいサブタイトルです。
2008/02/14 07:56:41	22P (15分)	
	目次	
m	目次, 22-28, 331-332, 261-264	目次に載っている表題たちがなかなか個性的で、それにつられて一部を読んでみました。ちょっとした不注意が、機械のパワーによって最悪の事故になってしまった事例でした。それは、自分にもあり得るような事故。気をつけたいです。
2008/02/13 00:09:41	20P (10分)	
	目次を見て気になったところ	
うたたね	9-28,233-256,375-387	なんとなく現実感無く読んでしまったけれど、現実の事故なんですよね。 不注意の宝庫である自分としては、些細なミスの連鎖が引き起こす大事故の描写はけっこう怖かった。
2008/02/12 16:59:27	55P (60分)	
	375-387	
テニスする人	139 - 145ページ	「まったく役に立たない最新魚雷」というタイトルに引かれて読んでみました。事の真相が細かく書いてあるので、何が起きたかはちゃんと読めばわかるのでなかなか面白かったです。
2008/02/12 16:13:15	7P (10分)	
	139 - 145ページ	
凱	表表紙&裏表紙&目次	本を持って帰ったのに結局中身は読まんかった・・・。 表紙がインパクトありますよね。 目次を読むだけでも頭が痛くなるかもしれません。 「メモにしてお置きならなきゃ、きっとお忘れになりますよ。」
2008/02/12 11:52:58	10P (5分)	
	8	
Nothing to lose	9-58	大きいな事故ばかりです。。。人間は事故無くせられないですが、出来るだけ避けて、小さくしてほしいです。 日常生活には危険が隠している。小さいことから大きな事故になれます。。。有意義な本だと思う。
2008/01/29 11:16:23	50P (120分)	
	31-58	
チョコボール向井	1-245	スリーマイル島原発事故の様子を一刻一刻詳細に書いてあり、 現場のドキドキ感が伝わってくる。事故の被害は人間に振ってかかったのは言うまでもないが、その事故は人間のミスがひとつの原因でもある。このやるせない関係を深く考えさせられる一冊。
2008/01/24 22:45:50	245P (240分)	
	61	
kazupi	1-30、171-202、233-237、427-429	歴史に残るような最悪の事故は多くの場合、複数のミスが重なって起こる。本書では60あまりの大惨事について、その起こるまでの過程や未然に防ぐ様子がリアルにつづられている。
2008/01/24 17:52:24	70P (60分)	
	171-202ページ	
ひいら	1-429	面白かった！各章に出てくる事故はどれも生々しくて迫力がある。それなのになんだかサスペンスを読んでいるような気さえするのは、ほんの些細な、本当に些細なミ

2008/01/24 02:45:20	429P (240分)	スト、そこから生まれる被害の落差があまりにも現実離れしているからか。 分析こそ専門的な単語が飛び交って理解に時間を要するけれど、事故当時の切迫した状況を書ききった作者と役者の仕事に感服。機械の怖さ、それにもまして人間のミスの怖さを教えてくれる本。
	59-95	
ガリレイ	59-138,171-245,320-355ページ	事故が起こった時の様子を事細かに描写しているのだが、その割りにその情景が浮かばない。
2008/01/16 23:21:16	191P (240分)	ただ以下に日常生活に危険が潜んでいるか、危険と隣り合わせに生活している人でも感覚が麻痺して危険を察知できなくなるかがわかる。炎上した飛行機からの脱出法は必見。
	59-62ページ	
勉強だいすき	31-93,139-202	私は、本の表紙からある人の失敗談を書き連ねた話が永遠に続くと思っていた。けれども、立ち読みポイントのP175-177はマコーミックさんが病氣なぐらい念入りに飛行機をチェックして、事故を防ごうとする様子が書かれている。お客様のために自分を投げ打ってまで万全を尽くすとは、理系でない人でさえ必修な技術倫理ではないだろうか。
2008/01/04 10:40:13	127P (160分)	もちろん読みづらいところもあるが、多くの失敗を知るのは後に必ずプラスになるのでぜひ読んでみてほしい。
	175-177	
のため	1-168,203-260,331-373	金ももったいなくてテストをしない。とりあえず表面を繕っておけばいい。今でもよくあるようなことですが、技術の発展途上だったころの甘い考えが重大事故を引き起こしてしまいます。だからといって、現在その反省は生かされているのでしょうか？また、極限状態のヒトの心理状態についても書かれていて、なるほどと思うことが多かったです。
2007/12/21 17:04:21	262P (180分)	
	139-146	興味深い本ですが、図が少なく専門的な要素も含まれるのでイマイチ理解不足になりがちです。ですが、読んで損はしません。
プーさん	9-58 97-138 261-293	いろいろな事故の事例を読んで、扱うものが、巨大化、高エネルギー化、ハイテク化すればするほど
2007/12/17 11:37:00	125P (120分)	事故を防ぐことが難しくなっていくのだなと感じた。
	261-293	でもどんな些細なことが大きな事故につながるのかは分からないものだなとも思った。
弟子	9-58 139-202 331-373	本にはこう書いてあるけど、本当にこんなことで事故になるのだろうか？ とってしまった人は、多分そんな理由でいつか事故を起こすでしょう。
2007/11/28 03:23:55	157P (120分)	大きな事故ほど、人為的な理由で起きるものであることを再認識した。 そして、確実に事故が起きる状況を回避できるのも人間の手によるものであることを知った。
	331-373	いろいろな事故についての状況が、単に過去にあった事件としてではなく、ストーリーをなして紹介されます。「世界ま〇見え」の、助からないレスキューみたいなかんじに。自分はそれがちょっと量的に重い気がしました。
塩キャラメル	9-48・191-200	歴史的な大惨事の具体的な例がたくさん登場し、一つ一つを検証しています。 そのため、テクニカルタームがたくさん登場。 私は根が文系の人間だからか、頭の中に事故の詳しい現場を思い浮かべるのに一苦労でした。
2007/11/02 18:21:35	50P (40分)	これが本じゃなくてテレビ番組だったらもっと分かりやすいだろうなあ、と思いました。 ページ数は失念しましたが

ぽつぽつ出てくる理論的、心理学的な話は面白かったです。

[TOPへ](#)

9.11生死を分けた102分

著者名	ジム・ワイヤー & ケヴィン・フリン	発行年	2005年
出版社名	文藝春秋	ページ数	358ページ
値段	1,800円	ISDN	978-4163674308

いったい何が起きたのか。誰にも分からない大混乱のなか、100階建てのツインタワーから逃げるための15000人の戦いが始まる。数百名の証言で織り上げた、あの瞬間。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
akkie	全部	倒壊する102分の間に両棟内で何が起こっていたのか？読者は倒壊することを知っているけど、本書の登場人物は知りません。その差は読んでいて表現しがたいものがあります。登場人物が多すぎて米国の書評でも「読んでいて混乱する」との指摘がある様ですが、その読みにくさを全て差し引いても読む価値は十分すぎる程あります。
2008/02/20 08:19:03	358P (360分)	

F A T B O Y	67-81、247-269、307-330	911テロの時に内部にいた人の行動、会話が生々しく描かれています。
2008/02/20 02:33:39	62P (40分)	当時、寝ぼけ眼でテレビのニュースを見て一気に目が覚めたことを思い出しました。おそらく今こうしている間にも世界のどこかで事件は起きています。巻き込まれたくないと思ってしまうけれど、いざ巻き込まれてしまったら自分はどんな行動をとるのだろう？
	247-269	すごく考えさせられました。
キングジョー	37 - 81	すでに懐かしいなと感じるようになったこの事件。
2008/02/19 22:45:52	44P (20分)	ジェット機が突撃した映像が印象的すぎて、それ以上のことは知らなかったし、知ろうともしなかった私にはとても為になった本でした。
	19の図	登場する人々の会話がとても生々しいというか、臨場感溢れる文章表現で、文章に吸い込まれました。
大仏君	1 - 269ページ	この事件があったとき私は浪人生で、将来も定まっていなく、不安いっぱいであった。
2008/02/19 19:23:14	269P (240分)	そんなときにこの大ニュースがあったとき、この世界の存在自体がなくなってしまうような危うさを感じた。
	前書き、3章、11章	最近就職活動をしているが、とあるゼネコンの説明会でこれからは超々高層ビルの時代になると謳っていたが、なんとも共感しづらかった。避難用のシステムや道具など超画期的な発明などがない限り、超々高層ビルには賛成できない。そもそも高層ビル自体好きではないが。。。
うたたね	1-116	ちょうど去年の9月11日にWTCにいて、犠牲者の家族や恋人の悲しみが相変わらず生々しいのを目の当たりにしていたので、WTCビルの構造的な欠陥の話にはショックを受けた。
2008/02/19 17:16:48	116P (70分)	どうしてそこを適当で済ませることが出来るんだ、と。
	どこでも	当日のその場にいた人々の行動がものすごく人間的であったことに、悲しくなったり嬉しくなったりした。
謎の男	98-205ページ	これは・・・ホントに良い作品。
2008/02/18 00:28:16	108P (60分)	自分にとっての究極の選択肢を突きつけられた時、どういう行動をとるか？その答えによって、その人の人としての価値が決まるのではないでしょう。
	120-124ページ	現実としてもっと直視して考えるべき問題はそこらじゅうに転がっているんだなと痛感しました。
大	1-116	以前「ユナイテッド93」という映画を見たことがあり、
2008/02/17 18:44:34	116P (120分)	そこで描かれていたものと共通するものがあった。
		非常に重い内容ですが、国際問題に興味がある人は勉強になると思う。
		ユナイテッド93は飛行機の中からの事実に基づいた話なので、
		これとあわせて読むといっそう深刻さが伝わってくると思う。
勉強だいすき	331-354	自分の死が直前にまで迫っている中で家族に連絡をとることは、どれだけ幸せな時間であり、つらい時間なのであろう。
2008/02/17 14:14:45	24P (20分)	人間はその極限状態に追い込まれたときに、もっとも素直で優しい気持ちになれるのではないだろうか。
	345	自分の死に際で、死を怯えるのではなく、家族に優しくなれる自分でありたい。

フェンリル	67-116	死を直前にあなたは誰と話したいですか？ あなたは何を話しますか？ 悲しすぎる現実から語られるストーリーに釘付けになります。
2008/02/12 01:52:05	50P (30分)	
	67-82	
m	1-80, 107-131, 145-218, 270-306, 331-381	911テロのイメージといえば、テレビに映った炎上するWTCであったり、昨今の世界情勢を決定づける重要なファクターであるとか、そういったものがある。それに対してこの本では、911テロを、その場にいた人々の視点で描く。度重なる不幸、極限状態で助け合う人たち。読者はこの事件の結末を知っている、登場人物たちはそれを知らない。この本を読んでいるとき、そのあたりに面白さを感じた。
2008/02/03 23:30:56	269P (230分)	
	お好みのタイトルの場所	
チョコボール向井	1-100	911のテロの時にWTCにいた人がどうゆう状況だったのか。どうやってこれがテロだと知ったのか。生々しく書かれています。
2007/11/13 01:21:38	100P (120分)	
	1-100	

[TOPへ](#)



はじまりました!!

書物の奥深い世界へと新しい冒険。
合言葉は「濫読（らんどく）」、つまりわがまま読み。
まあたらしいページに最初の足跡を付けるのは誰？

図書一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

地図に見る日本

著者名	海野一隆	発行年	1999年
出版社名	大修館書店	ページ数	194ページ
値段	2,600円	ISDN	978-4469232042

半分だけだったり逆立ちしてたり、奇想天外な日本認識コレクション。すべて見開きの右が地図、左がコンパクトな説明なので、展覧会気分で見回れる。なぜか近代になって正確になるほど、つまらなく見えてくるから不思議。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
キングジョー	主に1 - 195の偶数ページ（地図）	授業で取り扱っていただいた作品だったので、読んでみました。しかもほぼ地図だけ。
2008/02/19 21:58:11	100P (30分)	その地図が書かれた国によって日本が、その印象によって形を変えるってことを授業で聞いていたので、地図だけ眺めて自分なりに解釈しようと頑張ってみました。ほぼわからなかったけど（笑）
	なし	

大仏君	47 - 94ページ	ポルトガルが描くと九州が大きく描かれたり、ロシアが描くと九州は描かれていなかったりと、地図に描かれる土地の大きさがその当時のその国の認識を良く表している。 半分は地図なのでとても読みやすかった。各ページごとに地図を比較できて面白かった。
2008/02/19 19:32:12	48P (20分)	
	67,73,85ページ	
O'rei	3-103	地図には書いた人の主観がこれほど入るものとは、びっくりだった。地図の系統立てをする作業も面白いのだろう。 いろいろな地図を見るのは興味深かった。
2008/02/19 18:48:10	101P (80分)	
謎の男	9-144ページ	先生の授業で初めてとっていいくらい久しぶりに地図を詳細に分析したわけですが・・・地図の歴史がこんなにもあるのだなと実感させられた。 変な形や方向の地図もあって笑えました。
2008/02/18 00:25:02	136P (80分)	
	102-105ページ	
大	1-194	授業でプレゼンしたことを思い出した。 一つ一つの地図にはたくさんの言いたいこととその時の時代や考え方が多く含まれているものである。 昔の地図の方が面白い。
2008/02/17 19:21:31	194P (160分)	
テレスコープ	3-194	今ある正確な地図よりも、当時の様々なかたちをした、人々の想いがつまった地図をみるほうが、その土地のことをよくわかることができるような気がした。
2008/02/17 13:18:46	192P (180分)	
m	49-145	地図は、必ずしも空から見た形を描写する必要はなくて。制作者の言いたいことが込められていれば、それは地図なんだなぁ、と。 そんなことを思いました。
2008/02/15 10:15:24	101P (60分)	
	地図	
プーさん	3-194	息抜きできるほんだった。 おかしい形をしてるほど地図は面白い。 なんか笑えた。
2008/02/13 03:38:30	192P (120分)	
	地図	
フェンリル	1-194	授業中にプレゼンした懐かしい地図達。 あのプレゼン本当はこんな解説だったのかと新発見。 それにしても読む部分が少ない。これほど軽い読み物も珍しい。 しかし、日本地図もうちょっとちゃんとしたのを作ろうと思った人はけっこうすくなかったんだなぁと。
2008/02/12 01:47:40	194P (60分)	
	150-194	
きつとかつと	3-74	日本が正確になったと思ったら、急にへんてこになったりして、その地図を作ってる人の性格までわかるのが面白い。日本なんて昔の資料にあるこんなんでいいんじゃないか～という当時の明の人の感じ。右側に資料、左側に説明というレイアウトは同じリズムで個人的には飽きが来た。
2008/02/01 16:34:32	72P (90分)	
	適当に開いたところを	
テニスする人	3 - 194ページ	授業でも取り扱ったので、スイスイいけた。それぞれの国の時代、思想の違いによって地図が大きく変わることを実感した。地図上に自分の知っている地名やらが出てくるとちょっとうれしい。ぜひ読んでみて下さいな。
2008/01/24 10:51:45	191P (180分)	
	47 - 96ページ	
弟子	1-145	地図だけでおなか一杯。解説も読んでおなか一杯。二度おいしい。ごちそうさま。 とにかく、地図っていうのはいかに妄想や偏見で出来ているのかを思い知った。分からないことは空白にするのではなく、適当に書いてしまえと思ってしまう人間の勝手さがうかがい知れた。その謝ったところに、書いた人の時代や感性やそのほかもろもろが読み取れた。 そんな地図を読んでクスリと笑ってみましょう。 ただ、地図に書いてある文字を読み取ろうとして白黒の小さな地図を凝視しすぎないように。自分は読後、非常に目が疲れました。
2007/12/03 06:07:03	145P (90分)	
	気になった地図	
市戸瀬	1-145ページ	どのような本かは他の方のコメントに任せるとして。 すみません、とにかく「琉球」があるかどうか、しか見てません。 予想外に扱いが大きくて嬉しいです。 特にP116は方位線が中心が沖縄にあって、P90は無茶苦茶正確で、P42はこんなに不正確なのに「首里」だの「那覇」
2007/11/25 00:48:08	145P (170分)	

	116,90,42ページ	だの「久米」だのがあるところに感動しました。
凱	1-115ページ	もうこれは図集として捉えたほうが良いかも。 当時の方がどのような価値観で、どんな地図を描いたのかとか説明文に書いてあります。
2007/11/19 08:55:11	115P (200分)	しかしながらそれを全部理解しようとするに相当な知識が必要なはず。
	とにかく地図!!	この本はおそらくは「え ” っ、こんなのが地図なのか！？」っていうビックリからスタートしたはずなので、そんな筆者の気持ちが共有できれば大成功なのでは？
ひいら	1-197	右に地図、左に解説。紹介される地図はどれも実にバリエーション豊かで、読んでいて飽きない。
2007/11/08 03:43:15	197P (180分)	たとえば昔の地図に北海道が入っていなかったり、入っていても形が不確かであったりして、「蝦夷」がずっと異国として扱われていたんだな、なんてことがよく分かる。時代が進むにつれてだんだん形の正確さが増してくるところは見どころ。
	45-95 (「ジパング」)	惜しむらくは、これが全カラー図版だったらどんなに美しかったことか。だって絶対きれいなのに！

[TOPへ](#)

人口から読む日本の歴史

著者名	鬼頭 宏	発行年	1983年
出版社名	講談社学術文庫	ページ数	283ページ
値段	960円	ISDN	978-4061594302

3 0 0 0 万人、平均余命 3 0 年、それが江戸。都市は巨大な人口調節機構。吸収しては殺すアリジゴク。たんたんとした描写が恐ろしい。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
くら	13-155、243-283	3章までは比較的読みやすかったですね。ただ4章以降の読みづらさが私には無視できなくて、途中で最終章に飛びました。筆者がこの本の中で書いていますが、江戸時代の辺りから残存資料の量が圧倒的に増えていくわけです。そうすると、4章までの分析精度を維持するために、細かなところに入っていきます。そのスケールの違いのつながりが最初から読んでい

2008/02/19 15:39:04	182P (180分)	る読者にとって読みづらさの原因になるのかなと思いました。 最終章は、現在に近いところを扱っていて考えさせられます。特に、人口減少社会に適合したシステムの確立のための幾つかのポイントを挙げられており、私は（イ）と（ロ）が印象的でした。じっくりと考えるためには、前提の整理や視点の維持は大事ですからね。
謎の男	7-140ページ	現代でも問題となっている少子化に関して深く掘り下げた作品。 寿命がこんなにも延びてきている今、自分は幸せなんだと再認識した。
2008/02/18 00:22:48	134P (75分)	
	100-101ページ	
hiromitu	1-282	所得（石高）と出生率の関係など歴史的な資料を分析していくのが面白い。江戸時代では所得が高い方が出生率が高いというのが驚きだった。
2008/02/16 10:13:54	282P (180分)	
	136-137	
市戸瀬	186-216	「出産制限の理由と方法」の部分が怖かったです。 特に、墮胎と間引きについての描写が淡々としていて、男から見ても怖かった。女性が読んだらどう思うんだろう。
2008/02/11 23:28:03	31P (45分)	
フェンリル	111－155	少子化が問題となっている今、江戸時代では出生率のはかり方から違い、今と比べるのは難しい。しかし、女性の役割が重要視されるところでは、晩婚のきらいがあったなど、今の状態と当てはめることができることもあることがわかる。 歴史から今の問題を読み解くことが少しだけできるかもしれないそんな本。 ちなみにみんな短命だったから結婚期間も今より短かったらしい。離婚率があがるわけさ。
2008/01/24 01:00:34	44P (45分)	
	120-130	
87	1-110 156-216	タイトルどおり人口から歴史を分析していく。縄文時代の人口なんて推測にすぎないだと突っ込みたくなかったが、思わず納得してしまうようなこともありなかなかおもしろかった。
2007/12/19 00:55:07	160P (200分)	
	156-174	
トーマス	77-216	所々ためになる話は出てきたが、文章が数値解析のようなロジカル構成の為にあまり面白味を感じることができなかった。まあ私の文章読解力が稚拙といえればそれまでだが、、、歴史独特のロマンを感じなかった。
2007/12/12 01:22:17	140P (150分)	
凱	3-46,111-155,186-197,243-275ページ	人口学に関する過去の資料から読み取れる事柄が事細かに述べられている。 ・・・だから、何！！？ と、思わず思ってしまったのだが、本を閉じてタイトルを読み直すと「あ～、なるほど」 人間の歴史は社会の歴史。社会は人間の集合から成り立っている。 人間の集合がすなわち人口ということ。 歴史を読み解くには、人口という素材は絶好の資料なのだろう。
2007/11/14 22:50:32	134P (210分)	
	253-256	
黒猫	111-185	江戸時代の人々の結婚観がよくわかって、面白かった。(*° °*) 特に、夫が妻に問答無用で突き出すイメージのあった離縁状「三くだり半」が、

2007/11/11 09:52:27	75P (35分)	実は出戻った妻の再婚の自由を保証するためのモノで、妻側の要請で書かれるコトも多かった、と知って驚いた。Σ（°。°）
	128-131ページ	
紺	pp. 13-30, 77-227	豊富な史料を手がかりに、日本史を人口学の視点から読み直した本。 近現代の箇所に興味があって読み始めたが、通り一遍のことだけで面白みがなく、全編通して読んでも飽きが来るので江戸時代を深く掘り下げた第三章から第六章までがおすすめ。数値から理論を導き出す手順は勉強になる。 改めて『檀山節考』を読みたくなった。
2007/11/07 23:35:19	169P (300分)	
	pp. 209-213	
ハイパー・ワイハー	13～30、47～58、77～86、111～118、156～186	
2007/11/05 15:48:32	74P (120分)	江戸時代の平均寿命は30歳と言われているが、全員がそうではない。幼児の死亡率が高いために平均が下がるので、普通の70歳ぐらいまで生きる人もいる！！！！
	五章	

日本の歴史をよみなおす

著者名	網野善彦	発行年	1991年
出版社名	ちくま学芸文庫	ページ数	398ページ
値段	1,200円	ISDN	978-4480089298

日本史学界を襲った激震いまだ去らず。農民中心史観を廃し、「非農業民」という視点を核にすえて、中世史を中心に日本史全体の読み方をガラガラとひっくりかえしてしまった巨大な震源地のエッセンス。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
むうみん	371-405	江戸以前に「重商主義」が存在していたことに驚いた。まさに日本の歴史を読み直しました
2008/02/20 08:41:47	34P (30分)	
	376-379	

くら	1-224	特に2章と3章が読みやすく、かつ刺激的で付箋を沢山つけてしまいました。特に2つ。 1つは、自然観が社会の中に職能を作り出し、そしてその自然観が時代とともに変わることによって、同時に、作り出された職能に対する社会の対応の仕方もまた変わって来たということ。
2008/02/19 15:30:53	223P (300分)	もう1つは、贈与互酬を基本とする社会（これもまた、当時の支配的であった自然観によって規定されているのだと思います）の中では、その関係が発生する「交換」を自由に行うために、日常の世界から切り離された『市』を用意する必要があったということ。そのために『市』は、河原・川の中州・浜・坂といった何かと何かの境に立つものとされ、「交換」という行為が無縁になる。印象的でした。
謎の男	30-145ページ	中世の社会の外側に立っている私は、豊かな意味づけを感じるのです。 天皇の辺はちょっとわかりづかったです。
2008/02/18 00:20:11	116P (60分)	事実と真実とは違う、という言葉や言葉を常に心の中に留めている私ですが、語られてきた事と真実がこうも違うのかと思った。
	44-46ページ	
大	15-80	私が考えていた事実が事実ではなく、違うことが事実ということが多々ありました。 一種のアハ体験を与えてくれる本です。
2008/02/17 18:35:55	65P (100分)	
黒猫	143-222	昔の女性についてのイメージが変わった。 夫に静かに従ってるイメージだったが、こんなたくましかったなんて・・・。 見習いたい！
2008/02/07 09:11:15	79P (50分)	
	143-148	とても、読みやすく、イメージしやすい文章になっています。 ある程度読み飛ばしても内容はわかるし、じっくり読めば結構充実感があります。 些細なところからのアプローチという感触ですが、じつはかなり重たいテーマなんじゃないかな。
凱	1-50	
2008/01/24 12:25:09	50P (120分)	いままで歴史上で違う風に思われていたことが実は全く違うということがあたりまえのように書かれていてひきつけられる部分が多かったです。
	「はじめに」	
チョコボール向井	15-184	日本の歴史をもう一度勉強しなおそうと思いました。 「こんな風にみんなには思われているけど...実は違う」という展開にはどうしてもひきつけられてしまいます。
2008/01/19 20:49:36	184P (120分)	
テレスコープ	11-50	日本の社会は南北朝時代を境として変質したという著者の説を、人々が人ならぬものに抱く畏敬と蔑みの念を通奏低音として述べる1冊。 あれもこれもと内容を詰め込み過ぎたのか、かえって読み足りなかった。1章に1冊割いても十分くらいなので、もっと掘り下げて読みたかった。中世の歴史へのとっかかりとしてはよいと思う。
2008/01/19 17:31:19	39P (60分)	
紺	pp. 11-47, 81-184	中古代の貨幣観は現代とこんなにも違うものなのか！？自分の無知さを思い知らされました。
2008/01/16 19:36:51	141P (180分)	
	pp. 35-38	戦国時代にも、ヤクザがいた！！！！ この一言に尽きます。
トーマス	11-142	
2007/11/21 02:19:40	132P (120分)	私が読んだのは「百姓と農民」という章で、江戸時代までの日本は本当に農業社会であったかどうかについて議論されています。歴史の教科書では人口の8割が農民とされていますが、これは百姓の間違いであり、更に農民と百姓は同義ではなく、百姓
ハイパー・ワイハー	15-80、345-370	
2007/11/15 12:56:26	90P (60分)	私が読んだのは「百姓と農民」という章で、江戸時代までの日本は本当に農業社会であったかどうかについて議論されています。歴史の教科書では人口の8割が農民とされていますが、これは百姓の間違いであり、更に農民と百姓は同義ではなく、百姓
	367-370	
kazupi	10-14ページ、225-268ページ	私が読んだのは「百姓と農民」という章で、江戸時代までの日本は本当に農業社会であったかどうかについて議論されています。歴史の教科書では人口の8割が農民とされていますが、これは百姓の間違いであり、更に農民と百姓は同義ではなく、百姓
2007/11/14 14:10:47	48P (30分)	

戦国時代のハラノムシ

著者名	長野仁・東昇	発行年	2007年
出版社名	国書刊行会	ページ数	97ページ
値段	1,000円	ISDN	978-4336048462

戦国時代、病気は虫の形をしていた。鍼（はり）という武器をかざして奇天烈なモンスターに立ち向かった人々の心意気を感じつつ、とりあえず愛敬たっぷりのこいつらに爆笑。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
akkie	全部	これはオススメです！戦国時代の医学書に描かれた、体を蝕む蟲たち63匹。絵の造型や色、タッチが素晴らしいので魅了されてしまいます。絵を見るだけでもおもしろいです。
2008/02/20 08:25:45	97P (30分)	
勉強だいすき	1-81	斬新！！これを考えてた戦国時代の人にどれだけ真剣に考えてたか聞いてみたい。「コレ、あなたの本気ですか？」 誰かへのプレゼントにどうぞ。きっと喜んでくれ
2008/02/15 12:38:46	82P (20分)	

	77-81	ます。
塩キャラメル	全部	ここまで執拗に ありとあらゆる腹の虫に
2008/02/13 18:33:14	97P (30分)	人間っぽい顔を描く人の心情って一体・・・。 思いついた昔の人は虫に感情移入してる気がします。
	虫と目が合ったところ	なんで？何でそうなるの？
F A T B O Y	全部	昔の人ってすごいこと考えてたんだな～・・・ と。
2008/02/13 01:19:37	97P (30分)	症状だけじゃなくて「この虫は気性が激しい」と か虫の性格も熟知してみたいですね。
	ぱっと開いたところ	虫のせいにしないで少しは頑張っしてほしいなぁと 思ってしまいました。
sya	全部	こんなによく思いつくなあって思いつつ、こんな のがホントに体の中にいたら恐ろしいなあって
2008/02/12 21:47:08	97P (30分)	思ってしまった。
	P.56-P.57	顔面型の最初の2匹はインパクト強すぎ！
O'rei	全部	こんなに色々な種類の虫をよく考えたなぁ、と感 心。
2008/02/10 11:00:10	97P (40分)	なぜか惹きつけられる。 あとがきのほうにエヴァの使徒やらナウシカの蟲 に似てるという記述があったけど、納得。似てる 似てる。気持ち悪いし、得体の知れないやつらだ けどなんかチラ見したくなるのさ。
ひいら	1-97	なるほど「虫唾が走る」ってそういう意味だった のか！！　という発見。
2008/02/04 06:05:01	97P (30分)	ハラノムシは、現代でもしたたかに生きているの です。
	P27	
黒猫	1-81	まさに「キモかわいい」生き物のオンパレード！ ∩(´　`)∩
2008/01/30 18:41:39	81P (50分)	真面目で下らない解説も絶妙。(*´д`*) 中でも私が気に入ったのは、最初に紹介される馬 糞と牛糞。
	ぱっと目が合ったコ。	もふぁもふぁしてて可愛い。(*´艸`)
		ギャル曽根は絶対悪虫に取り憑かれている！(´ д`；)
弟子	全部	R P Gゲームの攻略本って何も知らなくても読ん でて面白いときってありませんか。多分この本を 読んだときってそんな感じ。
2008/01/28 02:12:59	97P (30分)	どうでもいいが31ページの奴がハクリュウ（ハ クリューではなく）に見える、フェンリルに言っ たら、ハクリュウはもっとかっこいい、と返しま した。至極同感です。
	31	
ぺんね	8-104	絵をパラパラみるつもりがくだらない文章にもは まってしまい、、、多分なんかのムシにとりつか れたんだと思います。根拠がないからこそクリエ イティブさが試されるんだと思いました。
2008/01/27 13:51:27	97P (25分)	
	開いたそのページ	
m	8-104	身体の不調だけでなく、心理状態の原因だとされ たムシたちが、カラーで次々と現れる。あらゆる 症状にムシの姿を与えるあたり、日本人のクリエ イティビティーは昔からのものなのだなぁ、なん て思ったり。戦国時代では、人々はこのモンスタ ーの存在を信じ、医者もモンスターたちと真剣に 戦っていたということに驚き。外国ではどうだっ たのだろうか。
2008/01/24 22:11:18	97P (30分)	
	全部	
テニスする人	8 - 101ページ	解説をあまり読まずに、絵をひたすらに眺めた。 それだけでもなぜか十分面白い！？よくもこんな に多くの絵を集めたもんだなーと感心する。そん なに時間はかからないので、一度だまされたと
2008/01/24 10:45:59	93P (30分)	

	全部	思って読んでみましょう。
紺	pp. 7-105	医学書『針聞書』に出てくる病魔、ハラノムシを 凶鑑風に並べ直してみた本。
2007/12/17 21:57:15	98P (90分)	解説は長いので、ただひたすら虫を眺めるのがいい。陽の亀積 (p. 18) や脾の聚 (p. 56) の治療法で脱力できる。
	pp. 30-54	個人的に蛇型が大変気に入ったので、体内でなくて籠の中で2, 3匹飼ってみたい。
大	8-81	冗談としかとられないようなおもしろい文章が満載。
2007/12/13 04:33:22	73P (50分)	それを戦国時代のひとは大まじめに考えていたと思うと、進歩を感じる。
		鼻歌などの病気としてとらえられていないものも 当時はムシのせいとされていたことがおもしろい。
市戸瀬	8-101	絵を見るだけでも充分楽しめるが、文章もなかなか面白い。
2007/12/07 23:39:39	94P (30分)	豆の残留思念ってなんだよ、しかもそれで完治するのかよ、とか。 「意識状態と身体感覚が一体不可分」を「こころとからだが一とつ」と読ませたり、「好色は死ぬまで治らない」「酒豪は死んでも治らない」の 「好色」「酒豪」にそれぞれ「エロ」「アルチューー」とルビが振ってあったりした。ちょっと笑った。
	18ページ、82-101ページ (後述)	
フェンリル	全部	腹の虫がなった、恋の病。戦国時代には、今では簡単にわかることでも、病気を特定するのは難しかった。そして、ウイルスという目に見えないものが病を起こしていると考えことはなかったのか、原因を虫にたとえた。
2007/12/02 21:26:04	105P (60分)	この本を読むと、戦国時代には何が病となされていたのかがわかる。虫の絵と読む場所の少なさに騙されるのではなく、不足部分を推測力で補わなくてはいけないファンタジスタ的本であった。
	自分の症状と同じ虫	泣き虫も昔は病気だったんだなと、過去を読みたい方是非！
凱	全部	気分転換にちょっとずつ眺めてゆくのがお勧め。最後に小さな文字で云々かんぬんと書いてありますが、そこも図だけ見ても全然オッケー。
2007/11/22 21:04:41	97P (60分)	朝、何気なく開いたページのムシで一日の運勢を占ってみては？ (どうやって??)
	P21 (フレキシブルなラッキョウって・・・)	戦国の人に「養命酒」を紹介してあげたい。
謎の男	8-104	斬新(笑)
2007/11/08 22:34:23	97P (45分)	これを読んだら笑いがとまりませんでした。よくこんなムシを考えられるなと、思わず感心してしまいました。
	全て	

書物の奥深い世界へと新しい冒険。
合言葉は「濫読（らんどく）」、つまりわがまま読み。
まあたらしいページに最初の足跡を付けるのは誰？

キングジョー	全部	嘘だ！ と、つい叫んでしまいそうなほど衝撃の内容。
2008/02/19 21:41:11	323P (300分)	あの時代ヨーロッパへ行った日本人がいたなんてしらなかった私には、あまりにも新事実が多すぎた。
	207－232ページ	ただ伊達正宗のフライデーには、衝撃というより笑いが出ました。
ひいら	1-28	「ハポン」を名乗る602人の住人たち。
2008/02/19 04:14:28	28P (15分)	自分の子孫に「日本」の姓を与えた祖先の思いはいかなるものだったか。
	1-28	はるか遠い国へと旅したサムライたちを思う。
つちのこ	29-43	
2008/02/19 00:41:33	14P (10分)	正宗とビスカイノとの出会いについての導入部分を読んだ。 大航海時代到来について記されていた。
謎の男	25-138ページ	武士は命がけで事を行う、これがよく表現されていた本である。
2008/02/18 00:18:05	114P (60分)	今やそんな心がけで事を行う人は少なくなり、甘く、ぬるい現代と対照的なんだなと実感させられた。
	55-60ページ	
大	7-166	サムライという言葉にひかれこの本を選びました。
2008/02/17 20:59:27	159P (140分)	ノンフィクションっぽくない、物語。 歴史の中でいつの間にか消えていく歴史。 歴史とは何なのだろう。
テレスコープ	7-10、216、225	授業中に参考資料として配られた部分を中心に読みました。
2008/02/17 13:24:04	7P (15分)	授業時に、国名をかかせられる時間があったのですが、全然書けなくて、非常に反省したことを思い出しました。 歴史をもっと、こういった面白みのある本で勉強しなおさなければならぬと思いました。
テニスする人	7 - 323ページ	タイトルが結構カッコいいと思いませんか？ 私がこの本と手に取ったきっかけはそこです。
2008/02/11 23:55:10	316P (300分)	
	29 - 43ページ	おすすめは日本に到来した大航海時代の波の章。この話の序章的な部分ですが、面白かったです。
announ	1-316	
2008/02/07 19:22:26	316P (300分)	こういった歴史の授業では習わない、歴史という波に消えていった人にフォーカスを当てた本、好きです。 死刑執行人サムソンといい、この本といい。人に歴史あります。
フェンリル	44-84、185-230	伊達政宗のフライデー的事実を知ることができた。まさか外国人女性が好きだったなんて。気持ちはわかりますが、その子孫の方々がどうなっているのか知りたくなる作品です。
2008/01/24 02:11:23	85P (45分)	昔の日本人はヨーロッパに招かれて、外国人と対面しても、緊張せずに刀を見せてあげたり、ティッシュを見せつけるようなことをしたりとユーモアにあふれていたとは。侍のかっこよさでないところを楽しめる本である。
	197-202	
弟子	1-166	事実は小説よりも奇なり。 この本が実はフィクションでしたといわれればむしろそちらのほうに納得するであろう。ドキュメント番組の台本なんですよといわれたら信じてしまうだろう。そんな感じの、極めて歴史を「楽しんで」書いてある本。歴史の客観性ではなく、一人のおっさんを通した主観で見通すことでこんなにも歴史は「冒険」になるのか。
2008/01/09 03:02:52	166P (90分)	
	318-323	こんな感じで多くの歴史は誰かの主観を取ってみればどこもかしこも「冒険」に満ち溢れているはずなのに、どんなに大事件でも歴史の教科書に載るときは数行で納められてしまうことをふと思い出し悲しくなった。
sala	7-317	
2008/01/06 18:06:55	311P (300分)	支倉常長というオッサンにフォーカスした、17世紀初めのヨーロッパと日本人の物語。とても詳細な描写。
	68-84	
凱	1-28,68-84,110-138	ノンフィクション！ なのに妙にフィクションっぽいのはなぜ？
2007/12/21 21:24:34	74P (120分)	日本人かなり大歓迎されて至れり尽くせりなのはなぜ？ もっともマドリッドから先の話は知りませんが。

	114-118	にしても、常長さんいい人すぎないか？
トーマス	7-84,248-273	日本の鎖国からこの物語が始まった。家康や伊達政宗や神父ソテロ等の建前と思惑が混ざり合う。主人公常長に武士の一分を感じる一冊。
2007/11/14 15:10:47	104P (70分)	
	7-84	
87	1-234 274-294	歴史の教科書におそらく出てこないだろう支倉六右衛門常長が主人公。仙台藩主伊達政宗の命を受け、命がけでヨーロッパへと旅立つ。
2007/11/04 19:40:00	254P (240分)	
	出発前の84ページくらいまで	

[TOPへ](#)

江戸城が消えていく

著者名	千葉正樹	発行年	2007年
出版社名	吉川弘文館	ページ数	252ページ
値段	1,800円	ISDN	978-4642056397

「絵」と「図」というキーワードで江戸の切絵図＆名所図会の変化を追うと.....ふたつの変化が一致していないところがおもしろい。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
こわい	99-148	同じ著者の本『江戸名所図会の世界-近世巨大都市の自画像-』を卒論で参考にしたので、非常に読みやすかった。特に今回読んだところは、『江戸名所図会の世界』のダイジェスト版で、本体より簡単に読めるようになっていた。興味のある方は『江戸名所図会の世界』も読んでみることをすすめる。
2008/02/20 09:45:45	50P (20分)	
	99-148	
sya	pp.1-27	図と絵という2つの概念から江戸を見ている。 図版が多いせいか個人的には割りと読みやすかった。 少ししか読めなかったのですが、今後じっくり読んでみようと思う。
2008/02/20 00:48:38	27P (30分)	
	pp.2-13	

大	1-42	全体的に硬い表現が多く読みにくかった。 しかしながら、図が多いので内容は理解しやすい。
2008/02/17 21:06:42	42P (50分)	
むうみん	1-42,76-249	論文っぽい書き方の本でした。中盤の分析は読み物としてはつまらないかと。 『江戸名所図絵』や『切絵図』ってなんなのかっていうことが書かれています。 個人的には『江戸名所図絵』の中に描かれたものにもっとフォーカスを当てて書いてほしかった。
2008/01/25 17:04:31	216P (120分)	
	233-238	
凱	1-73	私が読んだ前半の部分では「江戸名所記」から読み取れる作者の意図を丁寧に読み解いています。 本当に丁寧なので、多少読み飛ばしても大体わかるからすごい。 本読むの苦手な人にも結構読みやすくお勧めです。 (あと図が多いのでページを稼ぎやすいってのも裏の魅力)
2007/12/21 10:43:48	73P (120分)	
	66-68	
hiromitu	1-252	江戸時代の絵図をもとに、そこに登場する人物などを分析し、その時代の社会状況がどのようなものであるかを推測していくという流れ。 数値を使った分析を多く行っており、説得力があった。
2007/11/20 00:41:18	252P (180分)	
sala	1-253ページ	真実を伝えることに終始する現代の地図から、使われるという使命に特化する昔の絵図を解釈することで当時の地図の真実とのズレを浮かび上がらせ、その浮かび上がったズレこそが当時の社会を物語っているということを言っている本。 今そんな地図はないから、あくまで当時の地図への視点を増やすって事と、江戸の社会の勉強にはためになる本かと。
2007/11/08 01:00:17	253P (300分)	
	56-73	

[TOPへ](#)

桶屋一代江戸を復元する

著者名	三浦宏	発行年	2002年
出版社名	筑摩書房	ページ数	207ページ
値段	1,900円	ISDN	978-4480816214

ミニチュアで細かく細かく復元された江戸の町。お風呂屋さんに屋台に木戸番。作り手さん自身がその暮らし方を案内してくれる贅沢三昧。

読者投稿欄

コメント登録	コメントだけを登録する
お勧め度	
読んだ場所	例：1-120ページ、上250-中50ページ
読んだページ数と時間	ページ () 分
立ち読みポイント	例：55-58ページ、下257-260ページ
コメント	

投稿者	読んだ場所	コメント
投稿時間	読んだページ数と時間	
お勧め度	立ち読みポイント	
紺	pp.15-222	題名通り、桶屋の職人が江戸の家並みを1/10で復元した本。著者が江戸を案内するという形で書かれているので、読みやすい。職人の知恵の生きた模型は精巧で眺めているだけでもわくわくするので、特に江戸時代に興味がなくても楽しめる。ただ、本の趣旨の割に図版が少なく、モノクロになってしまっているのが惜しい。終盤、かなり説教くさいので「職人氣質」の章は読み飛ばし可。つつい江戸の明るい面ばかりを見がちになるが、
2007/11/11 00:49:27	208P (150分)	

	図版ページ	『人口から読む日本の歴史』と併せて読むと深みが出て興味深い。
弟子	全207ページ	ミニチュアで作られたきれいな江戸の建築物を 職人のおじいちゃんが紹介、案内してくれる
2007/11/08 00:27:34	207P (50分)	かと思いきや、材料の蒔薙トーク、若いころの苦労、男としての行き方、金の使い方、職人としての生き様、いつもいつもいいところで脱線ばかり。 でも、そんなおじいちゃんに引っ張られながら江戸の町を案内してもらうのは、どこか心温まり、どこか懐かしい気分になれる本です。 語り部は職人氣質のおじいちゃん。話のノリがいいのと引き出しが多いのとで、読んでいてあきません。
	「開いたところから」	立ち読みポイントは、もうどこでも。開いて面白そうなところだけでも読んでもらおうと嬉しい。どこを開いても職人のおじいちゃんがトークをはりきってるから、きっと伝わるはず。 全体とても読みやすいので、本を読むの速い人なら一時間くらいで全部読めるはずです。